



萩市須佐地域

公民館だより

令和7年

6月

第623号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

さあ、山菜探しに出発！ 須佐ふれあいウォーク



須佐川横の歩道を歩く参加者たち



山菜あったー！

大丈夫かー！

《今月の話題》

- 4月行事スタート！ふれあいウォーク！・・・1、2P
- 生き活き教室も放課後教室も春は山菜で！・・・3P
- R7年度：第1回公民館教室開催・・・・・・・・・・4P
- これからの中学生部活動は・・・・・・・・・・5P
- 春の花いっぱい運動審査結果・・・・・・・・・・9P



山菜をおいしく食べる子ども達

須佐地区交流イベント開催

探って、食べて、春の山菜を満喫！

須佐ふれあいウオーク



4月29日（火）のみどりの日、須佐スポーツ振興会須佐支部主催の令和7年度、最初のスポーツ行事として、「須佐ふれあいウオーク」を開催しました。

この行事は、体力維持と交流を兼ねており、新緑を迎える季節の自然に親しみながらウオーキングを楽しむ目的で、毎年開催しています。

昨年は、雨の降る中でびしょ濡れになりながらの山菜採りでしたが、今年は、前日まで降った雨と、朝方ザッと降った雨で雨雲が遠のき、空もだんだん明るくなって、絶好のウオーキング日和となりました。

当日は、小学生から大人まで28名が参加し、リュックや帽子、水筒を用意して歩く準備は万端。午前9時30分、早速ウオーキング開始です。

今年も春の山菜を探しながら、またかた方面へ歩いて行き、途中、鏡山神社に寄ってから昼食会場となるエコロジーキャンプ場へ向いました。最初は、益田家墓所が過ぎるまでは、須佐川を眺めながらしつかりウオー

キングを楽しみました。

益田家墓所を過ぎ、道はだんだん海が見えるまでかたの道筋へ…。ここからは昼食作りの山菜探しです。歩きながら見つけた山菜は、くず、つわぶき、よもぎ、タンポポの花、あけびの葉、こしあぶらなどです。よもぎやくずは、あちらこちらにあり、子どもも大人もたくさん摘んでいました。また、なかなか見つけることのできないタラの芽は、事前に摘んで用意しました。

途中、風水では一番のパワースポットとも呼ばれている「鏡山神社」へ寄りました。神社には、4歳の頃から一を聞いて十を知るような秀才で、その他にも霊力があつたとされている



浄蔵貴所塚



みんなでワイワイおしゃべりしながら楽しい昼食



揚げたての山菜天ぷら

る浄蔵が祀られている。浄蔵貴所塚があります。

参加者は、お参りをし、記念写真を撮ると、

今度は別の道からエコロジーキャンプ場へと向いました。

キャンプ場では、テーブルのあるバーベキューハウスを予約しており、そこで、採ってきた山菜は、大人が天ぷらにしました。ご飯は、須佐公民館から出かける前に炊いておいた竹の子ご飯。子ども達がラップを使っ

たぷらが揚がると早速みんなで昼食にしました。パリパリと揚げたたよもぎは触感も良く、子ども達にも人気。たくさん採ったくずも参加者全員が「おいしい！」と言いな

ら食べていました。普段なかなか食べれないタラの芽は「苦みがあるのがおいしいね」と大人の間で大絶賛！「おにぎりも味付けがちょうどいいね」と言われ（正直、炊き込みご飯の素に少し味を足しただけなんだけど…）、こうやって外でみんなで食べると、ほん

とおいしく食べられ、皆が笑顔になりました。最後は、当日の運試しですばらしい景品をいただくなど、最後まで楽しむことができ、参加者も大満足の様子でした。本当にお天道様様のウオーキングでした。



浄蔵貴所塚の前で記念写真

生き活き教室

旬★のたけのこランチ

つどい会



5月7日（水）、ゴールデンウィーク明けのつどい会は、旬のたけのこを使ったランチを作りました。

【5月のメニュー】

- ☆たけのこごはん
- ☆油揚げとたけのこのお味噌汁
- ☆わんぱんシュウマイ
- ☆ほうれん草の白和え

メインのわんぱんシュウマイは、フライパンに餃子の皮を敷き、種を乗せその種の上にまた餃子の皮を乗せ蒸し焼きにして作ります。今回は一つのフライパンで4人分を作りました。

減塩ということで、全体的に優しい味付けでしたが、今回もおいしく作れました。たけのこごはんの上には山椒、手でたたいて風味を出すのですが、「山椒をたたくときは、手のひらを丸くして、山椒を直接たたかずに、風圧で山椒に刺激を与えると



たけのこランチ

いい」ということを教えてもらいました。たけのこごはんは山椒のさわやかな香りが移り上品な一品になりました。

午後からは、蜜蝋ラップを作りました。蜂が巣を作るときに分泌する蜜蝋には、抗菌作用があり布にしみこませるとラップとして使えるようになります。使い方は包みたいものを布で包んで手で優しく抑えると、



アイロンで蜜蝋を溶かします！

体温で蜜蝋が解け形状記憶をしてくれます。約1年〜2年ほど使うことができます。捨てるときはコンポストまでできます。今回は、1人一枚作ってみました。アイロンで蜜蝋を溶かして伸ばす作業が少し力があるので、各テーブルで協力しながら作業しました。

まだ蜜が残っているので、来年またメンテナンスをしたいと思います。

地域交流自然体験

「わらびを摘んだよ！」

弥富放課後子ども教室



4月30日（水）、弥富公民館放課後子ども教室で、昨年度に引き続き、農事組合法人 弥富5区の皆さんにご指導いただき、わらび摘みを体験しました。

昨年度わらび摘みを体験した場所は、なかなかわらびが芽を出さなくて、開催時期を遅くしましたが、当日までに一気に芽を出して成長してしまつたため、採り頃のわらびが残っている場所に変更することとなり、今回は5区藤村義夫さんのご厚意で、藤村さんの畑でわらび摘み体験をさせていただきました。

昨年度の要領を覚えていた子どもも多



5区の方とわらびを採る子ども達



見て！トトロの傘みたい！

く、弥富5区のみなさんと上手にわらびを収穫することができました。たくさんわらびを摘み終えたあと、更にたけのこの収穫まで体験させていただきました。子どもたちは大きなたけのこの大興奮。とても嬉しそうに収穫していました。

そのほかにも、ふきも収穫させていただきました。きつと、ご家庭で旬の味覚を堪能できたと思います。

子ども達に優しくご指導いただいた弥富5区の皆さま、そして、藤村さんご夫妻、貴重な体験の場を提供いただきました。誠にありがとうございました。



来年も一緒に採りましょう

公民館学級



ボッチャでスタート！

須佐さつき学級

5月15日(木)、須佐文化センターでさつき学級「ボッチャ大会」を開催しました。ボッチャはヨーロッパ発祥で、年齢や性別、障がいのあるなしに関わらず、全ての人が競い合えるスポーツです。パラリンピック正式種目としても有名です。

今回は「楽しみながら体を動かそう！」のテーマのもと17名の参加者にお集まり頂きました。試合はチーム対抗のリーグ戦で行い、3人×4人のチームをくじ引きで5チームつくりました。



一球一球狙いを定めて投げる参加者

総当たり戦で1チームあたり4試合。参加者のうち、ほとんどのの方がボッチャ初心者でありましたが、一投一投に一喜一憂しながら、また、頭を悩ませながら競われていました。優勝争いは、勝敗数だけでは決着がつかず、得失点差での判定にもつれ込む大接戦でした。皆さん大変楽しんでおられ、「もう少し頻繁にボッチャをしたい！」という声も頂戴しました。



優勝された当日の仲良しチーム

ちなみに、今回のさつき学級は今年度1回目。大会の前に開講式を執り行いました。今年度のテーマは「集って楽しみながら学ぼう！」です。楽しめるプログラムを年間を通してご用意いたします！

次回は7月17日(木)に、「詐欺に騙されない消費者講座」を開催しますので、皆様お誘いあわせの上お越しください！

ゴキブリ退治は ゴキブリ団子で退治！



須佐あおば勉強室

5月20日(火)、令和7年度最初のあおば勉強室を開催し、「ゴキブリ団子づくり」を開催しました。このゴキブリ団子づくりは、一昨年からは3年目となります。参加者は23名でした。

このゴキブリ団子はホウ酸をメインに、小麦粉や玉ねぎ、お砂糖、そしてゴキブリが好みそうな匂いのする牛乳を使って団子にし、ペットボトルのキャップに詰め、3日から一週間、直射日光で白い粉が吹くまで乾燥させれば出来上がりです。

ゴキブリがこの団子の匂いに引き寄せられホウ酸に触れ、ホウ酸がついた手足をなめることで中毒症状と



材料を耳たぶの柔らかさまでこねる参加者

なり、5日ほどで死ぬと言われています。また、他の仲間に警戒心を出すことで、他のアブラムシも家からいなくなるというシステムです。

今回は3班に分け、ひと班8名で団子づくりを行いました。参加者全員が調理室へ入ると、人ひとり間を通るのも一苦労。また、皆が一斉にしゃべりだすので、誰が何を言っているか分からない状況の中、とりあえず3つの班がそれぞれ、一つのボウルに材料を入れてこね、あとは、キャップに入れやすいように他のボウルに分けて作業をしたり、1人が生地を丸めて他の人がキャップに詰めたり、また別の班は、生地を別のボウルに分けた後、半分の人数が隣の講座室の部屋で、静かに黙々とキャップに詰めるなど、皆さんやりやすいように作業をしていました。



出来上がったゴキブリ団子

一人キャップ30個のゴキブリ団子が出来上がりました。来年はどうですか？と聞くと、「続けてやらん」と、「来年も作ろう！」という人が多かったので、令和8年も続けていこうと思います。

第2回目は、6月17日(火)、マナー講座を開催します。

中学校の部活が

令和8年度から変わります



すでに報道等でご承知の方もおられますが、最近中学校の部活動の地域移行という話を聞かれた方も多いと思います。

この部活動の地域移行とは何なのか考えてみたいと思います。

これまで、学校の部活動は学校教員が担ってきましたが、令和8年度から部活動の指導を、地域団体や関係事業に担ってもらうことで地域の部活動に位置づけることを目指したことを言います。こうした取り組みを国では、「地域部活動」と呼んでいます。

部活動の地域移行が求められる背景には、児童生徒のニーズの多様化や生徒数減少に伴う部活動メニューの縮小、教員数の減少と勤務負担増などが指摘されています。

須佐の年配者には懐かしい話ですが、その昔須佐中学校の子ども達は、地域で育てようとの思いで、須佐体育協会が中心となり部活動の指導を直接中学校の現場におもむ

萩市の新たな活動のイメージ図



- ① 地域クラブ活動(新たな活動の場)
- ② CS活動(生徒の活動を支える場)
- ③ 地域習事活動(地域の習い事)
- ④ スポーツ・文化体験活動
- ⑤ 地域サポート活動(住民サポート)

き技術的な指導を行った時期がありました。その成果は山口県ならず全国大会出場などの成績を成し遂げるとい時代もありました。

それから時代も変わり、社会環境も一転しましたが、あの当時のようにはいきませんが、教職員に替わり、

民間の団体等による部の活動を地域に移行すると言え(部活の地域移行)分かりますかと思ひます。

しかし、地域移行と一言に言っても、今では須佐地域も、中山間の過疎地域です。都会内並みの指導者や団体組織があるわけではありませ

団体の関係者に集まっていたとき、地域移行に伴う課題や問題点を考えてみました。

野球関係者からは、人数は少ないけど野球の楽しさを感じてもらおう切っ掛けづくりは出来ないか。また、他の方々からは、成長期の子ども達、色々なスポーツを通して基礎体力をつけることも大切。帰宅後ゲームばかりでは困る、まずは身体を動かすことから始めよう。スポーツを通した子ども達の居場所も大切などの意見が出ました。

現在、須佐中学校では、火・木・金の放課後、陸上競技部・総合文化部の2つの部活が活動中です。この部活動は、基本的には令和7年度3月で終了し、4月～7月の移行期間を経て、8月からは学校から地域に完全移行します。

なお、この部活の地域移行について(誰が担当するのかなど)は、若干の遅れは感じていましたが、ここに来てやっと地域移行を支える動きが見えてきました。

子どもの数が少なくなり、団体活動をすることに支障をきたすようになりましたが、子ども達が須佐に生れてきたことに負い目を感じるようでは困ります。むしろ、少ない

人数ながらも須佐に生れてきて良かった。多くの大人たちが私たちの部活動を見守ってくれたと言われるような環境づくりの整備が大切ではないかと思ひます。そして、子ども達には心身ともに健全に育つ須佐っ子の成長を願いたいものです。

皆様方のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

当面の須佐地域のスポーツ競技の受け皿づくりとして、次のような競技が設定されました

○軟式野球(須佐クラブ)

土曜 9:00～11:00 須佐中G

○ソフトバレー(若者パレット)

水曜 19:30～ 須佐中体育館

○バドミントン(放課後スポーツ)

月曜日 16:30～17:30 文化C



※文化活動・他地域の活動については、公民館☎2310までお問合せ下さい。

子育て支援日記

テーマ／おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋

「職場の先輩から学んだこと」

須佐中学校校長 梅津麻由美

学生時代、いくつかのアルバイトを経験しました。また、社会人になってからは、複数の事務系の仕事を経て、教員になりました。今、振り返ってみると、さまざまな仕事に携わり、同年代の人たちや先輩方とともに働く中で直接的・間接的に多くのことを学び、視野を広げることができました。自分の体験だけではなく、他の人の言動から数多くの気づきを得ることもできました。

今回は仕事を通して、先輩から学んだことを若い世代の方にお伝えしたいと思います。

大学生のとき、夕方から夜にかけてファミリーレストランでアルバイトをしていました。先輩から挨拶や身だしなみなど、職場の決まりごとを教えてもらい、仕事内容についても説明を受けました。早速、ホールスタッフとしての仕事を開始。最初は不安な気持ちでいっぱいでした。先輩からは「周りの人の動きをよく見ておくといいよ」と助言を受けま

した。繁忙時間でもテキパキと仕事をこなす人は仕事の手順をよく理解し、常にお客様の様子に気を配っていました。接客業は「おもてなしの心」が大切だと、このとき実感しました。

損害保険会社で自動車保険の事故受付の仕事を担当したことがあります。電話で保険契約者の方に道路の形（交差点・三差路・直線）や交通事故の状況（人身・対物・自損）を詳しく聞き取り、事故報告書に記入をするのですが、これが本当に大変でした。というのも、保険契約者の方の説明が曖昧（あいまい）だったり、事故の状況が複雑だったりすると、事故報告書の記入ができません。状況によっ



ては過失割合も変わってきます。

だから、曖昧な部分は必ず問い返しや確認をして事故報告書に記入をする必要があります。ときには電話口で、大声で怒鳴られて社員の方に電話を替わってもらうこともありましたが。社員の方は「交通事故にいうと気が動転したり、ナーバスになったりするからね。困ったときには、いつでも相談して。」と、優しく声をかけてくれました。社員の方の粘り強い電話対応を間近で何度も見てみると、相手の心情をくみ取り、冷静に対応することの重要性がよく分かりました。

教員になってから四校目の学校に勤務していたとき、やまぐち総合教育支援センターで一年間、長期研修に取り組みました。そこでは、小学校・中学校・高校の先生方と一緒に学びを深めました。各自が研究テーマを設定し、授業実践を行い、仮説を検証します。私の研究テーマは英語の小中連携に関する内容でした。紙面発表とプレゼンを行うために原稿を作成しましたが、かなりの時間を要しました。

中間発表を終えた後に、参観してくださいくださった研究指導主事の先生方（15名ぐらい）の所に行き、感想を

伺いました。ある研究指導主事の先生がこんなことをおっしゃっていました。「参観者はそれぞれの視点でいろいろな気づきを言うから、発表者は混乱するかもしれないね。でも、複数の人が同じような指摘をした点については修正をした方がいいよ。」なるほどなあと、思いました。長期研修では日々、紙面発表の文章を書き直し、推敲に推敲を重ねる毎日が続きました。文書の確認を丁寧に行うようになったのはこの経験があるからかもしれません。

積雪が多い地域に勤務していたとき、先輩教員が「冬場はガソリンが半分になったら、給油をした方がいいよ。」とアドバイスをしてくださいました。そのときはあまり気に留めていませんでしたが、ある日、交通事故の渋滞に巻き込まれて40分ぐらい車が立ち往生したことがありました。先輩教員の言葉の意味がこのとき、はつきり理解できました。

アップルの創業者スティーブ・ジョブズは「点と点をつなげる」という言葉を残しています。「将来を見据えて点と点をつなげることはできない。できるのは後からつなぎ合わせることだけ。だから、今やっていることが人生のどこかでつながることを信じるしかない。」示唆に富んだ言葉だとしみじみ感じています。



世田谷区民会館の外観

最後の最後の詰め作業・・・

萩出身者が創設した大学は東京にはいつぱいあります。松陰神社の隣の国士館大学をはじめ日本大学や拓殖大学など、今回これらの大学にもチケットの販売をお願いすることとなりました。かなり義理でのお願いとなりましたが、まだまだ空



旧須佐町中央公民館

席は目立ちます。世田谷区民会館に言わせれば、客席約930席の7割が埋まればイベントとしては大盛会と言われました。しかし、もう少し頑張りたいが、これ以上売れる充ては有りません。

上京への準備・・・



東京公演は、2月11日(建国記念日)の午後です。しかし、当日出発するわけにはいかず、10日(水)に宇部空港より飛行機で羽田に向け出発予定。つまり参加者は、前日一日ほど休暇をもらわなければなりません。

従って、学校や職場には、萩市長名で参加のお願いに回ることとなり、県内を駆け回ることとなりました。出演者・スタッフ併せて約100名の大移動となりました。羽田空港から世田谷までは、貸し切りバス2台でスムーズに移動しました。

チケットが予想外に売れる

客席数930席、機材や見切れ席を除けば、約850席が鑑賞可能席となります。ところが、ここに来て急にチケットが売れはじめ、その数が1,000枚を超えることに・・・。義理で買った数を無しにしても、区民会館は、消防法上定員以上は絶対に入れることは出来ない・・・(立ち席も禁止)。嬉しい反面、自由席だけにどこで人数を切ったら良いか分からない事態が発生しました。

都心に神風が吹く

あと一日を残し急に売れ始めたコンビニチケット、世田谷祭りで販売したのは、3ヶ月前の事、随分昔のことに感じられました。

東京に来て、今更義理買いを除けば、後は運を天にまかせることしかできません。

そして、2月11日都心の朝を迎えました。窓を開けるとそこには銀世界が広がり、めったにない雪で交通機関にも被害がでているとの情報が入ってきました。早速、神奈川県にいた友人から、雪で出られない

ので、ミュージカル観覧のキャンセルの報告がありました。

さて、開演までこの状況(交通マヒ)がいかに関わり、最後の駆け引きとなりました。

そして、いよいよ午後の公演開演1時間前からお客さんが、どんどん来場、玄関から外へ、そして2階の階段を上り、会館全体を取り囲み、さながら蛇がとぐろを巻いたような状態となりました。



フィナーレを迎えた SHOWIN ミュージカル

寒いので若干開場を早めました。そうすると来るわ、来るわ、開演30分前には、約9割が入場。開演までには満席となり、若干後ろで立っている方も見受けられ、本当に最後まで神がかりの公演となりました。

(おわり)

ぶらぶら
タムラ

まちの
あるき



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶら
タムラが、わが町を紹介します。

今回も前回に引き続き、石州口の
戦い大村益次郎が辿った足跡を紹
介します。

大村益次郎なる人は

文献によりますと、この大村益次
郎なる人は、兵学者であり、小郡幸
判付医者村田孝益の子どもとして
鑄銭司村（現山口市）に生まれまし
た。幼名は宗太郎で、のちに良庵と
改名し、大阪にて緒方洪庵の適塾に
入門し、塾頭となり、1850年（嘉永



大村益次郎肖像画

6年）四国の宇和島藩に出仕しまし
た。この年に良庵を「村田蔵六」に
改名しています。

1854年（安政元年）軍艦の製造修
行のため長崎におもむき、翌年軍艦
を完成させて進水式をあげて藩主
より賞を受けました。引き続き、宇
和島にとどまること数年で、その後
江戸に出て私塾「鳩居堂」を開きま
した。

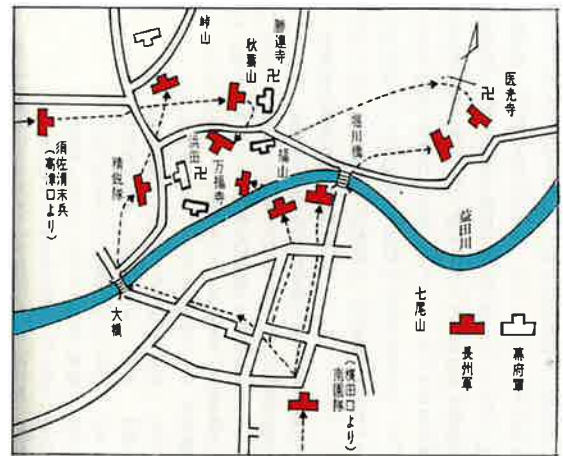
この年の1861年（文久元年）藩
命により江戸より萩に帰って参り
ました。そして1863年（文久3年）
長州藩士井上馨、伊藤博文ら5名の
英国留学の周施をして、翌年の1864
年（元治元年）三田尻付近や小郡付
近で砲台築造用地を巡検しました。
このとき「装条銃打方障法規則取調」
を命ぜられました。

この年に長州藩征討の朝命がく
だり、幕府征長の兵を出しました。
更に、1865年（慶応元年）防範掛兵
学用掛（ボウギョウカケ）ヘイガクヨウ
カゲ）となり、のちに馬廻士となつ
て譜代に列して禄高100万石を賜り
ました。

その時に、「村田蔵六を大村益次
郎」に改名しています。

1868年（慶応2年）6月16日に
長州再征の四境戦争がはじまり、軍

政用掛けとなつて石州口の幕軍を
攻撃し、敗退させました。



石州口の戦い両軍進発図

1868年（明治元年）戊辰戦争軍

務官判事となつて総督府のもとに、
東北戦乱鎮圧の方略にあつて、平定
させました。そして1869年（明治
2年）軍政により、永世1500石を
下賜り、6月に木戸孝允とはかり、
東京九段に招魂社、現在の靖国神社
建立を決定しました。そして8月に
は京阪地区軍事施設設置調査を実
施しましたが、同年9月数人の刺客
におそわれて、その傷がもとで同年
11月5日に病没し、47歳の生涯を
終えました。

霊碑等は現山口市鑄銭司の国道
2号線沿いの「長沢の池」のそば「大
村神社」があり、その隣地に墓碑が

祀られています。

今もなお残る戦跡を見る

このような優れた知識と経験を
有する大村益次郎は、1868年（慶応
2年）6月の四境戦争石州口の戦い
に参戦指揮するため、小郡（現山口
市）の石州街道（小郡から津和野間）
を北上し、益田の横田小木の河原を
渡り、清末隊や精鋭隊等と共に益田
の戦地を目指して、編隊行動を致し
たのです。



大村益次郎墓石（山口市）

この石州口の戦いに参戦するに
あたり、大村益次郎らが辿ったであ
ろう経路で史跡となつている所を
次回はそれぞれにご紹介致しまし
よう。

（つづく）

萩市春の花いっぱいコンクール

審査結果！

令和7年度「萩市春の花いっぱい運動」が開催されました。今回は、萩市から40件の応募があり、須佐地域からは個人・団体で4件の応募がありました。審査は4月中旬に行われ、それぞれ賞が決定しましたのでお知らせします。

なおこの度、応募された一部の皆さんとともに、今後の花つくりの参考にと、賞に入れた花壇を見て回る研修を行いましたので、併せて報告します。

【個人の部】

金賞：柴田静江（中津）
「キンセンカが呼びかける花屋敷賞」



【地域・職域団体の部】

銀賞：須佐公民館
放課後子ども教室



【学校の部】

銅賞：須佐中学校

奨励賞：育英小学校



瓦で花のアートを（下写真）

印象に残っているのは、夫婦で協力して花壇を作っている、田万川地域の個人宅の花壇です。奥さんは花壇を、その周りには瓦や絵が描いてある石をふんだんに使った、もはやアートといっても過言ではない敷地内のデザインはご主人が、ほんとに素敵な庭造りでした。

そこまで立派にはできないけれど、せめて自宅の庭を花のある庭にしたいなど、そう思いました。皆さんも、花のある生活を試してみませんか？

4月25日（金）、「春の花いっぱい運動」で受賞されたところの花壇の視察がありました。参加したのは、花いっぱい運動に参加している皆さんです。今回初めて実施され、田万川地域3件、須佐地域2件、旭地域2件、萩地域4件の計11件を一日かけて回りました。

受賞花壇視察研修

萩市を
花いっぱいのまちに…

地域トピックス

須佐地域の Gウィーク!



今年のゴールデンウィーク。皆さんは、どんなふうに過ごされたでしょうか。須佐地域では、イベントや各名勝には、多くの観光客が訪れていました。

わくわくフェスタ

須佐駅前では、5月3日(土)・

4日(日)に「わくわくフェスタ」

が開催。初日3日には、ふれあい花壇のチューリップの写真コンテストの表彰が行われ、須佐地域からブロンズ賞に須佐中2年の大谷梓紗さん(山根丁東)、シルバー賞に山本多佳子さん(青葉台)、佳作に五藤龍三さん(中津)が選ばれました。



左から山本さん、大谷さん、五藤さん

須佐湾フィッシングパーク

ここでは、ゆったりとした時間を過ごしに多くの観光客が来られています。今年は「アジ」がたくさん釣れていたようです。



コノシロという魚も釣れていました!

須佐ホルンフェルス

今年のゴールデンウィークは、天候も良く、ホルンフェルスまで歩いていく方も多く見られました。



断層の前で戯れる観光客



まちの駐在さん



4月から弥富駐在所に新しく『袈裟丸 篤史(けさまる あつし)』巡査長さんが赴任して来られましたのでご紹介します。皆さん、よろしくお願いします。

①出身地はどちらですか?

福岡県宗像市(むなかたし)です。宗像三女神を祀る宗像大社(辺津宮)の近くです。なお、長女が沖ノ島(沖津宮)、次女が筑前大島(中津宮)、三女が九州本土(辺津宮)という三宮を総称して宗像大社といいます。

②警察官になって何年目ですか?

大学卒業後、配送業者や営業職を経験した後、平成23年に警察官を拝命し、この春で14年目になりました。

③警察官になろうとしたきっかけは?

同級生2人を、それぞれ別の交通事故でなくしたことから、交通事故防止を職務とする白バイ隊員に憧れて受験したのがきっかけです。

④弥富地区の人たちの印象はどうですか?

引っ越しの最中から気軽に声をかけていただいたことから、温かみのある親しみやすい地域であるという印象です。

⑤注意してほしいことは何ですか?

須佐・弥富地区に限ったことではありませんが、過疎化による地域防犯力の低下や高齢者の絡む交通事故等の増加が課題と考えています。よって、まずは近隣住民同士の声掛け等が、災害時等でも防犯上有効であると思います。次に、少しでも運転に不安がある方は、重大な交通事故を起こす前に、免許証の返納を検討していただくことで、高齢者の交通事故減少に繋がると考えます。

⑥須佐・弥富地区の皆さんに一言...

事件・事故を起こさせない環境づくりには、地域住民の皆様のご協力が不可欠です。パトロール、巡回連絡及び広報活動等の警察活動に対する、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

⑦自己PRがあれば...

明るく・楽しく・元気よくが信条です。気軽に声をかけていただけると助かります。



生涯学習作品コーナー

生涯学習発表会 お知らせ

- 期間 6月21日(土)
～6月23日(月)
※9時～16時
- 会場 須佐公民館 1階
(ロビー等)

日頃、団体や個人で活動されている皆さんの作品(絵画、写真、書、色鉛筆画、陶芸、手芸、エコクラフト、編み物等)を展示します。

是非、皆さんお誘いあわせて、ご来場ください。



【俳句】

落ち椿あちらこちらを染めていき (山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

黄砂にてかすんで見える遠き山

風静まりて稜線あらわる

(青葉台) 田村雅利

遠い日に母と娘と万博へ

初めて触れた異国の文化

(山根丁東) ゆめはるか

水田の中に見えるは反転の

水彩色の景色なり

(入江) 緒方恵美子



大塚 均 (1911-1998)

赤十字100年記念切手

多くの国では、識別マークは白地に赤い十字を模した赤十字のマークを採用している。この赤十字マークは1863年に赤十字規約が制定された時にはすでに決定しており、創立当初から各国において使用されています。赤十字100年を記念し昭和38年5月8日10円切手が発行されました。大塚均52歳時の作品です。



須佐の偉人伝 大塚 均

99

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

2025		6月 地域カレンダー				
		須=須佐公民館 弥=弥富公民館 生=生き活き教室 学=学校・保育園行事 ス=スポーツ関係 保=保健センター 子=子ども対象行事 弥G=弥富グラウンド				
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 須佐ソフトバレーボール大会(須中)8:30 弥富グラウンドゴルフ大会(弥G)8:30	2 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	3 	4 弥 放課後子ども教室 15:30	5 つどい会 10:00	6 弥 さつき学級 9:30	7 ■鈴野川ほたる祭り 18:30
8 育英小参観日	9 エコクラフト 9:30 ピンポン 13:30	10 須 パッチサークル 9:30	11 歩こう会 8:45 須 色えんぴつ画教室 13:30	12 須 習字教室 13:30	13 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	14 
15 家庭の日	16 ピンポンクラブ 13:30 麻雀クラブ 13:00	17 須 あおば勉強室 13:30	18 	19 生き活き体操 8:45 生涯学習作品展示準備 13:30 須佐保育園参観日 子育て講座	20	21 ■生涯学習発表会 (作品展示) ~23 須左中オープンスクール
22 	23 エコクラフト 9:30 ピンポンクラブ 13:30 麻雀クラブ 13:00	24 ■生涯学習作品片 9:00 須 パッチサークル 9:30	25 須 色えんぴつ画教室 9:30 音楽療法 13:30 弥 G-Gを楽しむ会 9:30	26	27 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	28
29	30 ピンポン 13:30	★スマホ何でも相談所 須佐地区：6/9、23 弥富地区：6/26（午前中）				




QRコードをご覧ください

「韓国カフェタイム」からお知らせ

「韓国好きな方集まれ〜!」
 いろんな人と一緒に「韓国」について語り合いませんか? 韓国の〇〇について興味がある方ならどんなたでも大歓迎です。韓国のお茶とお菓子を用意してお待ちしております。是非、お越しください。

●参加費 200円
 ●会場 須佐公民館
 ●日時については…
 須佐公民館 ☎2310
 韓国カフェ担当 山本一貴
 まで、お問合せください。

伝言板

●須佐さつき学級
 「詐欺に騙されない消費者講座」
 ○とき 7月17日(木)
 午後1時30分から
 ○ところ 須佐公民館
 ○申込み 7月11日(金) までに須佐公民館 ☎2310へ

毎月第3日曜日は「家庭の日」 今月は『15日』です ★家族みんなで過ごしましょう!			
須佐地域の人口 (R7.4月末現在)			
	世帯数	人口	前月比
須佐	922戸	1,620人	(△6人)
弥富	211戸	390人	(1人)
合計	1,133戸	2,010人	(△5人)
昨年比	世帯数△28人		人数△80人

編集後記

梅雨のシーズンとなりました。ジメジメ、ジトジトと気分まで憂鬱(ゆううつ)となりますね。
 そんな時こそ、人とおしゃべりしたり、花を觀賞したり、また、部屋の大掃除や模様替え、自分の趣味ごとをしたり、温泉などで身体の息をとるなどして、梅雨ならではののんびりやを解消していきましょう!
 雨だからこそ、打ち込む何かを見つけて過ごせば、毎日が楽しく過ごせるのではないのでしょうか。
 さあ、皆さんはこの梅雨時期、何をしていますか…。